

2018  
夏期研修

# それでも、関わり続けるために

～ 罪を犯した障害のある人の支援をめぐる～

罪を犯した障害のある人を「生活に困難を抱えた人」ととらえることで私たちの見方はずいぶん違ってきます。触法事例はエンパワーメント、権利擁護、地域移行といった福祉的課題のすべてをはらんでいます。当事者の視点で「生活の困難さ」を見つめ、支援のあり方を考えます。同時に地域生活を継続するための他機関、多職種との連携を考えます。

日時

8/25 (土) 13:30～16:50

参加費

無料

場所

八尾市文化会館プリズムホール 研修室

大阪府八尾市光町2丁目40番地 ▶近鉄八尾駅下車 徒歩3分

定員

70名 先着順。FAX かメールで氏名・所属・連絡先を記入の上申し込み

---

## 第1部 基調講演 13:30～14:45

「地域で支え続けるために」

講師 中川 英男 氏

(滋賀県社会福祉士会 会長・元滋賀県地域生活定着支援センター 所長)

当事者が「いろいろなことがあったけれど今の生活が一番いい」と思えるまでの道のりは平坦ではありません。トラブルが起きたり再犯リスクが高まることもしばしばです。矯正施設等を出て地域での生活を「始めるとき」、「始めてから」、「慣れたころ」、それぞれの支援期に生じてくる当事者と支援者側の認識のズレ、どんなことに支援者は留意すべきか体験をもとにお話いただきます。また地域で支え続けるために他機関、他職種との連携についても言及していただきます。

---

## 第2部 事例発表 15:00～16:50

事例① 岩橋 誠治氏 (たこの木クラブ代表 東京都多摩市)

事例② 富田 忠一氏 (社会福祉法人ちいろば会 統括管理責任者 奈良県)

事例③ 豆子 寿士氏 (NPO 法人ラルゲット 代表 大阪府)

■主催 社会福祉法人ゆうとおん 581-0834 八尾市萱振2丁目133  
電話 072-993-0785 FAX 072-993-0784  
Mail youtone@live.jp

8/5 夏期研修 参加申し込み用紙

FAX 072-993-0784

氏 名	
所 属	
職 種	
連絡先 (電話/アドレス)	